

神奈川シニア連合  
機関紙

# あゆみ

2019年12月11日(水) 第82号

■発行 神奈川県退職者連合  
■責任者 東谷裕明  
■連絡先 〒231-0023  
横浜市中央区山下町24-1 連合神奈川内

[TEL] 045-211-1133 ・ [FAX] 045-201-8866 ・ [E-mail] senior@rengo.or.jp

## 政策・制度要求、組織拡大、ボランティア活動を柱に 高齢者福祉の向上に向け取り組む

神奈川シニア連合第28回総会は、11月22日13時00分からワー  
クピア横浜において、代議員・来賓・傍聴者など131人が参加し開  
催され、政策・制度要求、組織拡大、ボランティア活動などを柱に  
した2020年度活動方針を満場一致決定しました。

総会は、鈴木副会長の司会で始まり、冒頭、シニア連合初代会長 児玉一郎さん（JEC連合）、元常任幹事 吉田敏長さん（海員組合）の逝去に伴う黙祷が行われた後、議長に成田好夫代議員（基幹労連）と瀬沼康一郎代議員（JPP労組）を選出しました。

そして、大会役員等の任命を行った後、永井会長が「ヨーロッパで国の幸福度ランキングの発表があった。上位は、フィンランド・デンマーク・ノルウェーなど北欧の諸国であり、日本は、社会保障制度、教育などの評価が低く58位に甘んじている。社会的価値観を重視した政治や施策が必要である。特に、

高年齢者福祉の介護・医療は自己負担が増加し、年金は受給額が減になるなど劣化している。神奈川シニア連合は、日本退職者連合、連合神奈川に主力をあげたい」と挨拶。

野副会長から「2020年度活動方針（案）」東谷事務局長から「2020年度予算（案）」を提案し、質疑が行われ、意見なく満場一致で活動方針が決定されました。引き続き、総会宣言の採択とスローガンの決定、今大会をもって健康上の理由で退任される永井碩夫会長と新たに会長に就任された池田捷治会長の挨拶、役員表彰、大会役員への解任と続き、白井副会長の閉会の挨拶の後、池田捷治新会長の「団結頑張り三唱」で総会を閉じました。



池田捷治 新会長  
(電力総連)



### ご来賓の皆様

- 連合神奈川会長
- 日本退職者連合事務局長
- 神奈川県産業労働局労働部雇用労政課副課長
- 横浜市経済局雇用労働課課長
- 立憲民主党神奈川県連合副代表
- 国民民主党神奈川総支部連合会代表
- 神奈川県労働者福祉協議会事務局長
- 中央労働金庫神奈川本部常務理事
- こくみん共済○○○ 神奈川推進本部推進部次長
- ワークピア横浜事務局長
- (株)エル・ピー・イー 営業総括部長
- いこいの村あしがら支配人
- 日本退職者連合事務局長

- 吉坂 義正 様
- 野田 那智子 様
- 安井 富美子 様
- 山本 秩朗 様
- 山本 ひろえ 様
- 牧山 俊雄 様
- 石上 明 様
- 天野 裕秋 様
- 佐藤 豊秋 様
- 山崎 剣士郎 様
- 石井 清貴 様
- 福重 仁 様
- 石田 順裕 様
- 大内 孝子 様

# 立憲民主党・国民民主党に

## 介護・医療制度の充実」等の諸要請を提出

神奈川シニア連合は、日本退職者連合

第23回定期総会(2019年7月12

日)の前日に開催された地方代表者会議

において、日本退職者連合の「2019

年度政策・制度要求」並びに「低所得高

齢単身女性問題に関する政策・制度要

求」に地方・地域が抱える課題を加えて

自治体要請、議員への協力要請を当該の

地方連合の協力得て行うとの意思統一

を踏まえ、11月25日に立憲民主党神奈

川支部の阿部知子衆議院議員、牧山ひろ

え参議院議員、12月2日に国民民主党

神奈川県総支部連合会の石上俊雄代表

後藤祐一衆議院議員、雨宮裕治川崎市会

議員、小粥康弘横浜市会議員に提出し、

立憲民主党へ提出



国民民主党へ提出

意見交換を行いました。

両党への提出にあつては、池田シニア

連合会長から「本要請は、2010年か

ら行っているが、介護・医療、年金など

高齢者福祉は後退し、地域包括ケアシ

テムの構築は満足できる状況になつて

いないのが実情である。是非とも政治の

場で諸課題の充実・前進に向けた取り組

みを要請する」とあいさつ。その後、東

谷事務局長から、要請書の内容を説明

し、社会保障費の増額増加などにつ

いて意見交換を行った後、それぞれの政

党から「神奈川の皆さんが快適に暮らせ

るよう」に要請の実現に向け頑張る」等の

言葉があり、要請を終りました。

今後は、連口神奈川の協力を得て、神

奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横

須賀市への要請を行います。

## 2019年度「ボランティア基金」集約

2019年度の「神奈川シニア連合ボ

ランティア基金」は、退女教、JAM、

国公総連、NTT労組の取り組みと神奈

川シニア連合からの繰入金で総額67、

3000円となりました。

各産別退職者会は、2020年度も諸会議

やイベントで会員に協力を呼びかけるなど、

積極的な取り組みをお願い致します。

なお、集約は、2020年10月末に行い

ます。

## 憤慨の念で「国後・歯舞」の島影を眺める

神奈川シニア連合幹事

若林康夫(全印刷)

北方領土返還要求運動神奈川県  
民会議主催「令和元年度北方領土  
視察研修」に連合神奈川の一員と  
して参加し、北方領土返還の地根  
室」を10月23日から25日の日程  
で訪問しました。

初日は、中標津空港到着後に野  
付半島を訪れ、洋上16km先の国後  
島の島影を眺め、翌24日は、別海  
町から「外海国後島クルーズ」で  
不法な洋上国境線8km手前まで近  
づき憤慨の念で再度眺めました。

次に「北方四島交流センター」  
を訪れ、北方四島の歴史の説明を  
受けた後、色丹島出身の元島民か  
ら「昭和20年8月15日終戦以降  
ソ連軍の侵攻、復帰するまでの間  
の略奪、悲惨・劣悪な生活環境」  
等について聞くとともに「元島民  
は高齢で減少しているが、故郷に  
帰る気持ちを継続し、返還運動に  
情熱もって取り組んでいる」との  
言葉を拝聴。

最終日は、納沙布岬の「北方



館」を訪れ北方領土返還祈念シンボ  
ル像「四島のかげ橋」の前で参加者  
全員の記念撮影をした後、歯舞群島  
から3kmしか離れていない北方館  
の所長から「群島の歴史、返還に向  
けた外交などの取り組み、オホーツ  
ク海沿岸の漁業産業の衰退の現状」  
などの話を聞きました。

今回、研修に参加し、日本固有の  
北方領土でありながらソ連軍の不  
法占拠から75年経ても未返還であ  
ること、不法な洋上国境線設定、外  
交制約のための漁業産業の衰退、元  
島民の返還に向けた取り組みなど  
を見聞きし、国民一人一人の認識と  
意識を高め、全国的に返還運動を取  
り組み、早期に解決することが重要  
であると痛切に感じました。